



第58回

外大祭開催!

11/4・5
Fri. Sat.

今年も模擬店、フリーマーケット、
トークショー、ライブやゲームなど多彩な内容で
参加者の笑顔が広がりました。

盛りだくさんの
ステージ企画

「THANX」を今年のテーマに外大祭が11月4日・5日の両日開催されました。やはり目玉は2日目の玉木宏氏のスペシャルトークショーだったようで、入場チケットも早々に完売ということでした。もちろん学生達が事前に色々企画した模擬店などもキャンパス内にギッシリと並び、初日の午前中から多数の来場者が詰めかけていました。それぞれのお店の魅力が来場者が人気投票するという企画もなかなか好評でした。ライブやステージ、そして各言語による劇などもどこから観ようかと迷うほどでした。そして後援会も恒例のビンゴゲームを8号館前で開催し、沢山の方々に参加いただきました。今年も大人向けのビアガーデンから子ども向けのキッズランド、移動動物園に至るまで多彩なプログラムで地域の方々にも多数で来場いただきました。実行委員会、各団体、出店者等の皆さんは準備段階から本当にご苦労様でした。「感謝!」です。

(広報部会 吉川 和信・小関 明)

スポーツ
フェスティバル10/11
Tue.

10月11日、第2分館グラウンドでスポーツフェスティバルが行われました。秋冷を感じる気候でしたが、熱い声援の中、大迫力の「徒競走」や「団体別リレー」、笑いの絶えない「パン食い競走」、「多言語借り物競走」などで大いに盛り上がりしました。

準備や進行に、ここかしこ走り回る運営スタッフをはじめ、明るい学生たちに元気をもらい、楽しい一日でした。

(後援会 浅田 敦子・川内 並子)

ハロウィン
パーティー10/31
Mon.

それは、Trick or treat! の声と共に始まった。今年のハロウィンは、留学生との交流の場を提供することを目的としている、CLUB IRIE (クラブアイリー) 主催のクラブスタイルのパーティーでした。



オープニング当初はまばらだった人影も、陽が沈むにつれどこからともなく現れてきたインターナショナルで陽気なお化け達であふれ返り、にぎやかにハロウィンの夜は更けていきました。

(広報部会 出岡 直喜・岩本 康史)



世界に飛び出せ！ 京都外大生の留学体験

多くの京都外大生が世界に飛び出し、
留学からさまざまな体験を深めています。
今回は2015年2月から2016年9月までに留学した体験、
また2016年3月から2017年3月まで留学を経験している
京都外大生のアンケートから書き起こしてレポートします。

アメリカ ハイラインカレッジ

英米語学科3年次生 清武 穂乃花さん
休学留学 (2016年3月～2017年3月)

<保証人から>

今回の留学にあたり仲介業者を決めるところから出国の日まで本人の強い意志で決め、その行動力に驚かされたと同時に心身共に強くなっているような気がします。ホームステイ先のママと本当の母娘のように会話していると聞き安心しました。携帯のSNSで週に2～3回は連絡がありますし、2カ月に1回はLINEで電話しており大学の授業の楽しい様子などを細かに知ることができます。

<学生本人から>

留学先ではホスピタリティについて学んでいます。課題が日本の倍以上あり最初の2カ月くらいはホームステイ先のママたちに教えてもらいました。ホストファミリーはフィリピン人の夫婦で私の部屋(バス、トイレ付)と私専用のゲストルームを提供してくれました。生活費は現金で支払わないといけないのであらかじめ沢山持っていって月々払っています。普段の生活費はクレジットカードを利用しスケジュール帳に書いて管理しています。物価はロスほど高くありません。現地の人には日本のダイソーが人気でリアルタイムで日本と同じものを売っています。5カ月経った今でも毎日が新しい発見です。アラビア人がラマダン中だったときに夜9時迄飲食禁止だったりして文化の違いを切に感じました。7月はエコツーリズムの授業でエコキャンプ。8月はマウントレーニアという山にキャンプに行きました。日本よりも寒く乾燥しているため暑さはさほど感じません。春夏物の衣服は持参し6月に船便にて冬物を送ってもらいましたが2カ月かかり、8月ようやく到着しました。余裕をもって送ってもらうことをお勧めします。



マレーシア 国立マレーシア科学大学

英米語学科3年次生 加島 匡信君
派遣留学 (2015年9月～2016年9月)

<保証人から>

マレーシアの情報が少なく、学生生活よりも基本的な生活の不安や心配がありました。SNSを用い常に連絡をとるようにしていました。(時差は1時間) 様々な文化、宗教、生活習慣にふれ多くの人々と会話し、意見や考え方の違いも相手の立場に立って理解出来るようになったと感じます。

<学生本人から>

授業時間はそれぞれの科目によって異なり1～3時間のうちのどれかでした。授業内容は主に教育について学んでいました。通学は徒歩でしたが交通量の多さや歩道の整備不足で注意をはらう必要がありました。マレーシアのペナン島は街そのものが世界遺産登録されており、観光地も多く非常に住みやすい島でした。生活費は日本の3分の1から半分程度です。食事は辛いものが多く慣れるまで大変でした。辛い料理は日本人好みの味で美味しいものが多かったです。マレーシアでは普段日本人が気につけない「宗教」というものが大きく関わってきます。イスラム教徒が多いので、大衆的な場所では肩や膝を出さない服装を心掛けなくてはなりません。上着と長ズボンを数枚持って行くといいです。



ブラジル ブラジリア大学

ブラジルポルトガル語学科4年次生 ワキモト 満理奈さん
派遣留学 (2015年2月～2015年12月)

<保証人から>

心配は治安が悪いことを本人に理解してもらうことでした。テロも心配でした。LINEやMessengerなどで頻繁に連絡を取っていました。1人での海外渡航は初めてで、飛行機の乗り換えでは必死でポルトガル語を絞りだし、伝わったと嬉しそうに電話をくれました。留学してよかったことは、本人に自信が付き、色々な人たちに助けられ今があるのだと認識できたことです。

<学生本人から>

授業は120分で、最初はなにを言っているのか分からず、ついていくのに必死でした。授業を録音し、帰ってから聞き返して勉強しました。後半には耳が慣れ、ついていけるようになりました。生活はブラジル人と寮で暮らしていました。最初はなじむのに時間がかかりました。積極的に話しかけるようにしていたら仲良くなりました。食事は朝は寮でパンとコーヒーがです。昼と夜は自炊です。どこに行くのも遠く、車がなければ不便な町でした。私は自然が大好きなのですが、イグアスの滝とアマゾン川を訪れた時、自然の大きさを目の当たりにし、とても感動しました。現地では常に周りを見て気を張っていました。大きいお金は持たず、鞆は必ず前にしていました。携帯電話もあまり持ち歩かないようにしていました。



中華人民共和国 広東外語外貿大学

中国語学科4年次生 小田 樹さん
派遣留学 (2015年9月～2016年9月)

<保証人から>

中国への留学ということで、特に空気汚染、食事による健康面が気になった。学生ビザがおりずに時間がかかり、予定通り出発できるのかハラハラした。連絡はたいてい土日にSkype、メール、Wechat(中国版LINE)で、つながりにくい時は、ネット、SNSでやりとりした。お金が足りない時はNeoMoneyに入金。開会セレモニーで留学生代表になったり、中国語スピーチコンテストで3位、作文コンテストで1位になったと知り嬉しかった。留学により中国人のみならず色々な国の人と知り合い、世界観、人生観が広がり、家族と離れ、自立心が生まれ遅くなっていた。

<学生本人から>

学校から3分くらい離れた場所の、留学生用の女子寮の二人部屋に滞在。部屋にはクーラーはあるけれどもキッチン、冷蔵庫等はないので、ほぼ外食でした。近くに(衛生面等心配ですが)イタリアン、すし店等有り。値段もお手頃でした。授業は中国語ベース、英語ベースとあり、語学、文化、ビジネスを学ぶことができます。放課後はアクティビティに参加したり、学校の野外活動に参加したりしました。大学は、都市から少しは離れた自然に囲まれたところにあり、町の人も愛想がよく親切にしてもらいました。中国はどこに行っても、人が多く、にぎやかで日本とはまた違った活気溢れる国でした。



クラブ紹介

目標高く活動しています！

京都外大には53団体のクラブがあり、サークル等を含めるとその数は70団体を超えています。
今回はその中から、フットサル部とドイツ語研究会を紹介します。

後援会では、
部活動を奨励金
でサポート！



【フットサル部】

代表 岡田 祐司
ドイツ語学科 2年次生

平素は私も京都外国語大学フットサル部の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。これからも絶え間ない努力を重ねていく所存であります。現在は水曜日18時半から21時半まで、土曜日17時から20時までの週2回練習に励んでおります。現在、男女で80人以上の部員が在籍しています。現在、男女共に関西学生リーグと鴨川リーグ、女子はティアラリーグに参加しています。女子は前年度ティアラリーグで2位という結果を残すことができました。男子は前年度残念ながら関西学生リーグで2部に降格という結果に終わってしまいました。来年は男子は関西学生リーグ1部昇格、女子はティアラリーグで優勝できるように誠心誠意頑張っております。興味のある方は是非体育館に足をお運び下さい。今後とも当団へのご声援、よろしくお願いいたします。



【ドイツ語研究会】

会長 野田 幸代
ドイツ語学科 2年次生

こんにちは。ドイツ語研究会です！私たちドイツ語研究会の活動にご支援いただき誠にありがとうございます。私たちは、ドイツ語の上達のために毎週月曜、木曜の昼休みにドイツ語を交えたゲームをしたり、授業での疑問などを聞いたり教え合ったりしています。6月には暗唱大会があり、単語や文法を学びながら本番に備えていきます。外国語で劇をする語劇祭では、脚本、衣装などすべてオリジナルで作成するため、11月の本番に向けて8月から準備を始めます。語劇祭は今年で第58回と歴史があり、毎年違った劇を見ることができます。来年はさらに磨きをかけ、賞も狙いにいきます！ぜひ見に来て下さい。他にも、ドイツ料理をみんなで食べに行ったり、六月祭や外大祭でドイツのソーセージやビールを販売します。個性的なメンバーが揃い、笑顔が絶えない部活です。これからも精一杯活動していきますので、ご声援よろしくお願いいたします。



校友会

校友会は毎年外大祭にブースを出しています。今年もキャンディーつかみ・校友会グッズ・喫茶コーナー・よろず相談でした。来年外大祭にお越しの際はぜひ、いらしてください!!!

(広報部会 吉川 和信)

※校友会とは、京都外国語大学、短期大学の全卒業生が会員となり、会員相互の親睦を図りながら、「京都外国語大学、京都外国語短期大学」の益々の発展を応援・支援する会です。



2016年(平成28年)度

後援会 第1回役員会

7/2
Sat.

本学にて2016年(平成28年)度後援会第1回役員会が行われました。教育懇談会、研修旅行、外大祭の出店等、今年度の事業計画について話し合いました。役員の皆さん、お疲れ様でした。
(後援会副会長 田村 裕子)

後援会
では

年2回、全額助成します!!

お子様の留学・就職等のキャリアアップに、ぜひご利用ください。

助成を受けるには、所定の手続きが必要となっていますので、
申請方法、申請期間、支給方法については、**助成金に関するホームページ**
(http://www.kufs.ac.jp/faculties/sub_proficiencyexam.html)にて確認してください。

※英米語学科1・2年次生については、学科が行うTOEIC IPテストに助成1回分を充当します。

助成の対象となる語学検定試験

■ 英語

- ① TOEIC ※領収証がない場合は、4,645円
- ② TOEFL iBT ※一律 25,530円
- ③ 実用英語技能検定
- ④ 国際連合公用語英語検定試験
- ⑤ IELTS
- ⑥ IELTS for UKVI ※一律 25,530円
- スペイン語
- ⑦ スペイン語技能検定
- ⑧ DELE (スペイン文部省認定証)

■ フランス語

- ⑨ 実用フランス語技能検定試験
- ⑩ TCF (フランス語学力テスト)
- ⑪ TEF (フランス語能力認定試験)
- ⑫ DELF/DALF (フランス国民教育省・フランス語資格試験)
- ドイツ語
- ⑬ ドイツ語技能検定試験
- ⑭ ゲーテ・インスティテュートのドイツ語検定試験
- ブラジル・ポルトガル語
- ⑮ 外国語としてのポルトガル語検定試験 (旧: 国際ポルトガル語検定試験)
- ⑯ ブラジル教育省外国人のためのポルトガル語検定試験

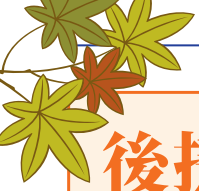


【問い合わせ先】

教務部分室
TEL. (075) 322-6764
場所 / 8号館1階



全額助成しています。
語学検定試験受験料を



後援会 研修旅行

九度山・白浜

10/22・23
Sat. Sun.



秋晴れの中、下村副学長以下、平田後援会会長、大学職員、後援会計26名の参加者で京都外大より大型バスで10月22日・23日の1泊2日で九度山・白浜の研修旅行に出発いたしました。初日、大河ドラマ『真田丸』の真田幸村が徳川家康と戦う「大坂の陣」を前に10年あまり暮らしたゆかり深い九度山町の「真田ミュージアム」で真田三代の物語の展示、解説を見学後、醤油発祥の地の「湯浅醤油」の醸造過程を見学いたしました。宿泊先は南紀白浜温泉「ホテルシーモア」で初日の日程を終えました。

2日目の朝は南紀の海を一望できる広い岩盤と太平洋の荒波が打ち寄せ砕け散る荒々しい「千畳敷」を見学し、「とれとれ市場」を経由し「紀州梅干館」で梅ジュース作り体験をいたしました。後に和歌山県最古の寺、大宝元年(701年)に創建された「道成寺」の本尊の千手観音など、重要文化財の建造物、国宝、文化財指定の仏像などを見学いたしました。

最後に、和気あいあいとした研修旅行の企画、運営にご尽力いただいた方々に感謝いたします。

(広報部会 中嶋 信裕)



運営部会の活動報告

私たち運営委員の仕事は、外大祭での後援会主催のビンゴゲーム、教育懇談会の受付、入学式での新入生への記念品渡し、後援会の総会の受付や案内が主な仕事です。役員をさせていただいて早や4年目になりますが、小・中・高の学校の役員とは違って、子どもが在籍している卒業までの期間仕事をします。初めは長いと思っていましたが、あっという間でした。役員をして子どもの大学に来る機会が増え、また大学の職員の方や他の学科の保証人の方とも話をする機会もあり、楽しく後援会の仕事ことができました。皆様も教育懇談会や外大祭など、気軽に大学にお越しください。

(運営部会 西川 晴美)

外大祭ビンゴゲーム



教育懇談会の受付



2016年(平成28年)度教育懇談会実施報告

大学と共に考える学生たちの未来

第17回教育懇談会が9月25日名古屋と広島で、また、11月5日本学にて開催されました。キャリアセンターより昨今の就職状況やインターンシップ他、保証人の皆様の参考になる当世就活事情について講演して頂きました。その後、各学科の先生方を交えての立食懇談会から個別相談会へと移る中、参加された保証人同士の意見交換も活発にされ充実した時間となりました。

(後援会会長 平田 太治)



11月5日(土)本学会場



9月25日(日)名古屋会場



9月25日(日)広島会場



編集 後記



広報部会
浦谷 裕子

いつまでも暑いなあと思っていたら、あっという間に秋が深まり各地で大学祭が盛況の様ですが、本学でも例年通り外大祭やCLUB IRIE主催のハロウィンパーティーなどが盛大に催され、本文にてその模様を紹介させて頂きました。

後援会の広報部会に所属させて頂いて早や3年。広報部会や後援会活動などで大学を訪れる機会も多く、その都度学生たちのキャンパスライフやイベントへの取り組みの様子に触れて参りました。朗らかに談笑していたり、看板製作のためにペンキまみれになっていたりと、夏のイベントではこどものように水鉄砲ではしゃいでいたり...その全てを紙面において保証人のみなさまにお伝えできないのは、とても残念なのですが、雰囲気や学生たちの一生懸命さを少しでも感じて頂ければ幸いです。そして、もし直に感じてみたいと思ってくださった方は是非一緒に後援会活動に参加してみてください。両手を広げてお待ちしております。

また、「〇〇ってどういことなの?」「〇〇の仕組みが知りたい」「〇〇ってどうすればいいですか?」「〇〇について教えて」など疑問や記事へのご意見・ご要望もいつでも大歓迎です。

冒頭で「秋が深まり...」としましたが、この号がみなさまのお手元に届くころには、木々が雪化粧をしているかもしれません。今年が平穏無事に暮れますように、2017年も素晴らしい一年になりますように、祈念しつつ、今後も後援会活動へのご支援をよろしくお願いいたします。

Please contact
to us

Please e-mail

投稿やご意見はこちらまで。
スペースの都合上、掲載できない
場合もございます。ご了承ください。

kyotogaidai-commit
@hotmail.co.jp